

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。



愛着と誇りの持てる 「きれいな奈良県」の実現

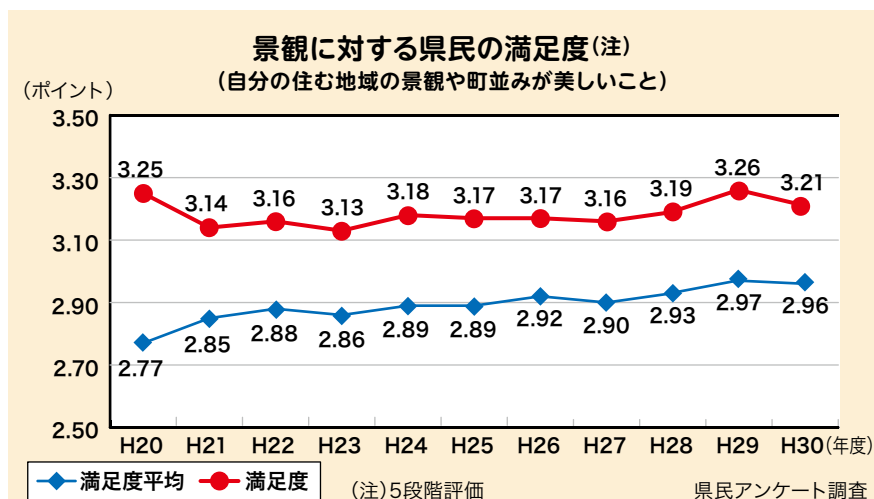
主担当部局：景観・環境局



岡崎川沿いの桜風景(安堵町)

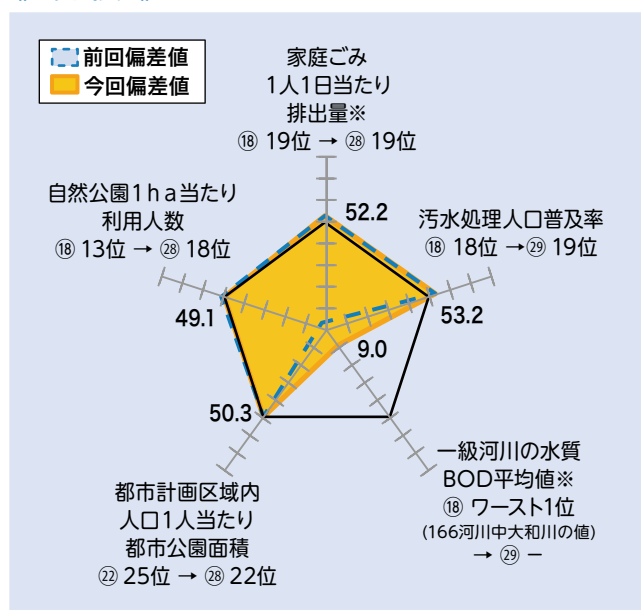
◆ 目指す姿

平成32(2020)年度までに、県民アンケート調査における**景観に対する県民の満足度**(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)を**3.50ポイント**にします。

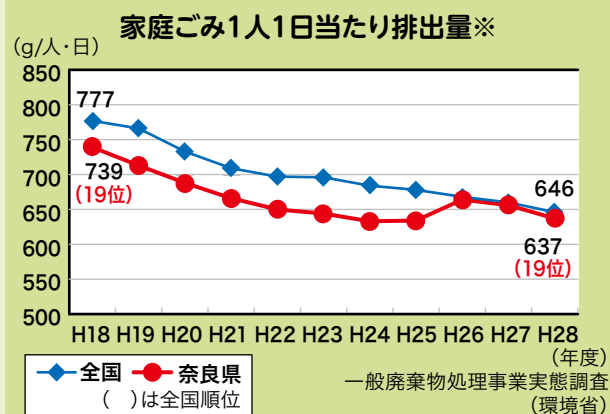


◆ 目指す姿を達成するための取組状況 ◆

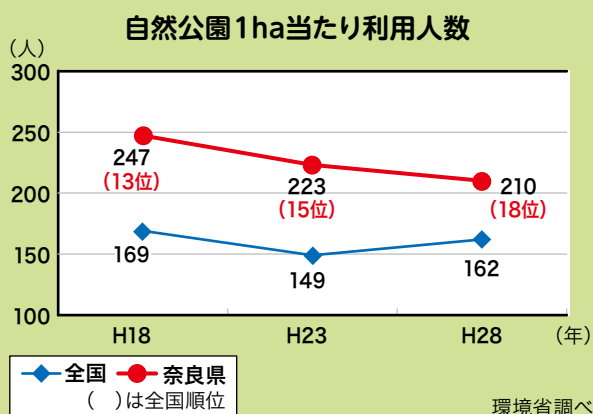
《 現状 》



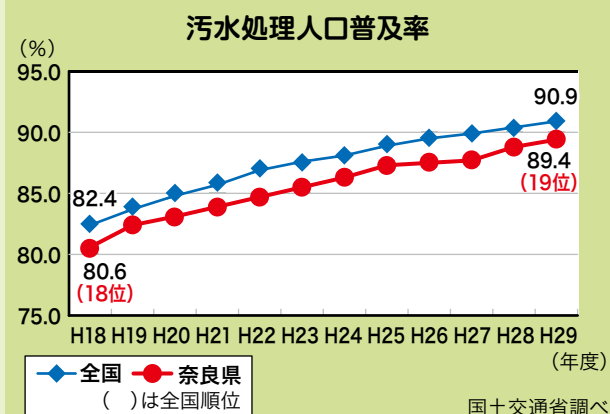
《 トレンド 》



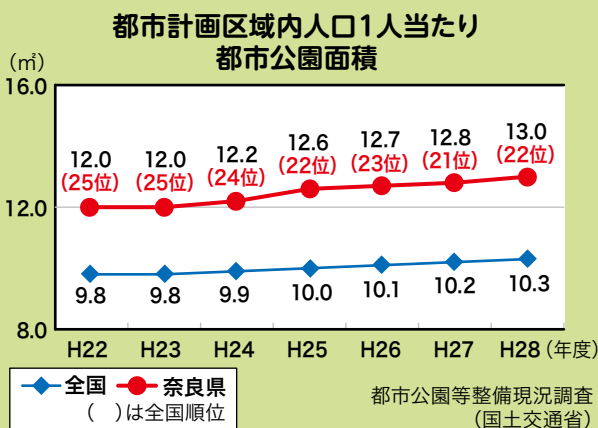
平成28年度の家庭ごみ1人1日当たり排出量は、平成18年度と比較して13.8%減少しており、全国平均と同程度となっています。



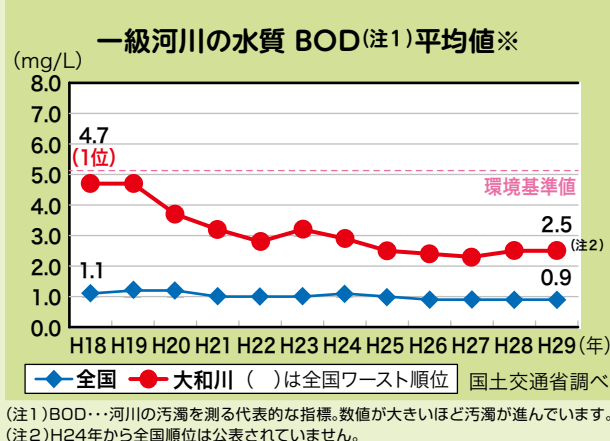
自然公園1ha当たり利用人数は200人から250人の間で推移しており、全国平均を上回っています。



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、汚水処理人口普及率は着実に上昇しています。



都市計画区域内人口1人当たり都市公園面積は順調に増加しており、全国平均を上回っています。



平成29年の大和川のBOD平均値は、平成18年と比較してほぼ半減し、着実に水質改善が進んでいます。



戦略 1

奈良県植栽計画の推進と良好な都市・沿道景観の形成に向けた取組により、
奈良らしい景観づくりを進めます。

● 主担当課：景観・環境局 環境政策課、景観・自然環境課

◆ 戦略目標

植栽計画着手エリア数(累計)

36 エリア
平成26(2014)年度



目標
56 エリア
平成32(2020)年度

中和幹線沿道における市町条例規則に不適格な広告物の修景率

0 %
平成29(2017)年度



目標
100 %
平成36(2024)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進	新規エリア等の検討・計画、事業推進、市町村・住民等との協働スキームの構築・推進		
中和幹線沿道における屋外広告物対策	不適格広告物の是正・誘導		
奈良の玄関口となる駅周辺の景観整備	景観デザイン(案)の作成、歩行空間等の検討・計画、推進体制の構築・運営による事業化促進		



植栽整備による景観づくり(天川村観音峰登山口)



中和幹線から眺める二上山(大和高田市)



戦略 2

生活排水対策をはじめ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）や省エネ・節電等の取組を促進し、環境負荷を低減します。

● 主担当課：景観・環境局 環境政策課

◆ 戦略目標

大和川の環境基準達成率

85.7 %

平成26(2014)年度

目標

100 %

平成32(2020)年度

一般廃棄物最終処分量※

61千トン

平成27(2015)年度

目標

46千トン

平成34(2022)年度

温室効果ガス排出量※

781 万トン

平成25(2013)年度

目標

540 万トン

平成42(2030)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
「大和川のきれい化」推進	公共下水道接続・合併浄化槽整備等の促進、「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会による実践活動の促進、地域住民等が自主的に行う河川美化活動への支援		
「循環型の生活スタイル」推進	ごみ処理広域化の促進		
	「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進、事業所の再生可能エネルギー熱利用の導入促進、公共建築物の木質化の促進		



大和川一斉清掃(大和高田市)



やまと広域環境衛生事務組合やまとクリーンパーク(御所市)